



研究成果のご紹介

これまでの成果を季節に応じてお知らせします。

水稲における放射性物質対策試験

今年度、相馬市玉野地区で実施した放射性物質対策試験の結果をお知らせします。

試験区は、表1のように設定しました。水稲玄米の放射性セシウム濃度は、前年産米と比較し、慣行区でも2割以下に減少しました。対策をした1~3区ではさらに大きく減少しており、ゼオライトや水稲作付け前の土壌カリウム含量の補正の効果が確認されました。4区は慣行区と同程度でしたが、追肥で増量したカリウム肥料が水溶性でなかったためと考えられました。

なお、生育及び収量調査の結果、ゼオライトやカリウムの施用は水稲の生育や品質に影響を与えないことがわかりました。

浜地域研究所では、次年度も継続して調査し、放射性セシウムを含まない米の生産に向け支援していきます。

表1 区の構成

区名	概要(施用量は10a当たり)
1 ゼオライト 0.5t	春耕耘前にゼオライトを0.5t施用
2 ゼオライト 1t	春耕耘前にゼオライトを1t施用
3 カリ補正	春耕耘前に土壌分析を行い、土壌交換性カリ含量を珪酸加里で25mg/100gに補正、さらにゼオライトを1t施用 追肥カリは出穂35日前に珪酸加里で施用(成分2kg)
4 カリ追肥	追肥カリは出穂35日前に珪酸加里で施用(成分2kg)
5 慣行	基肥は化成肥料施用(成分で窒素6.5:リン酸10:カリ7.5) 追肥カリは幼穂形成期に塩化加里で施用(成分2kg)

注1)5区の基肥と追肥は1~4区にも施用

注2)ゼオライトは日東粉化工業株式会社製でカリ含量2.2%

ただいま試験中

平成23年度より、新規試験課題がスタートしました。ここでは、こういった試験を行っているのか紹介します。

土壌塩分および用水塩分が定植後のイチゴ生育に及ぼす影響

東北地方太平洋沖大地震の津波による被害を受けたイチゴ圃場において除塩後に作付けしたところ、土を付けずに定植した株に生育障害(葉枯れ)が見られました。そこで、土壌や用水の塩分と、定植苗の土の有無がイチゴ生育に与える影響についてプランター試験で検討を行っています。これまでの試験で、定植後の葉枯れを防ぐためには定植時の土壌ECを0.2mS/cm以下にすることが必要であると考えられました。



現地圃場で見られた葉枯れ

「FOEAS」を利用した土地利用型作物の栽培管理技術

東北地方太平洋沖地震に伴う津波により、被災した地域の農業振興を図るための取り組みとして、研究所内水田ほ場に灌漑・排水を容易にできる地下水位制御システム（FOEAS）を導入し、土地利用型作物を中心とした輪作体系を実施しています。2012年11月に小麦「きぬあずま」をドリルシーダで播種し、その後順調に生育しています（写真1、2）。今後、地下水位の変動を確認しながら生育、収量への影響について研究を進めていきます。



写真1 小麦の播種作業風景（'12.11.5）



写真2 小麦の生育状況（'12.12.25）

作物の生育状況

稲、麦、大豆などの主要作物の生育に関して概況をお知らせします。（詳しくはHPへ！！）

〈水稻の作況試験〉

24年度の作柄調査の収量は、ひとめぼれ（平年比109）、コシヒカリ（同114）と多収となりました。収量構成要素をみると、ひとめぼれは㎡当粒数はやや少なかったが、登熟歩合は高く、千粒重は大きかったです。コシヒカリは㎡当粒数は多く、登熟歩合は高く、千粒重はやや大きかったです。外観品質は、ひとめぼれは1等でしたが、コシヒカリは2等でした。コシヒカリは登熟期間前半の平均気温が26.0℃と高温で経過したため、通常の水管理では白未熟が平年より多く発生しました。

〈大豆の作況試験〉

24年度の作柄調査（タチナガハ）の結果、標播の成熟期はほぼ平年並みとなりましたが、晩播・極晩播は前年より4~8日早くなりました。収量は、標播が虫害の大幅な増加により平年比90%の減収となりました。晩播と極晩播は、一莢内粒数が前年に比べ大幅に増えるなどしたため、それぞれ前年比121%、176%と大幅な増収となりました。また、いずれの区でも虫害（カメムシ）による被害が多くなっています。

平成24年度農業総合センター研究成果発表会のお知らせ

口頭発表・ポスター展示等で最新の研究成果をわかりやすくお伝えします。

〈相双地区〉

3月6日（水）13:15~16:00

相馬市コミュニティーセンター会議室

■申込み・問合せ先：福島県農業総合センター 企画技術科

電話 024-958-1700 FAX 024-958-1726 メール nougyou.jouhou@pref.fukushima.jp

〈相双地区〉は3月1日（金）まで、〈いわき地区〉は3月5日（火）までお申し込みください。

〈いわき地区〉

3月13日（水）13:15~16:00

いわき農業協同組合 本店大会議室

編集・発行

ホームページ

福島県農業総合センター浜地域研究所

http://www4.pref.fukushima.jp/nougyou-centre/bu_hama/hama_index.htm

〒979-2542 相馬市成田字五郎右エ門橋100 TEL (0244)35-2633 FAX(0244)35-0319